



飛躍への挑戦！
高知県産業振興計画

安芸地域アクションプランの進捗状況等（第3四半期）

安 芸 地 域 本 部

平成31年2月14日（木）

安芸地域アクションプランの進捗状況等

H 3 1 . 2 . 1 4

安芸地域本部

1 地域アクションプランの平成 30 年度（第 3 四半期）の実施状況（総括）

(1) 総評

全項目（31項目）について、実行支援チームを編成し、各市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略の取組と歩調を合わせて、市町村や関係団体、民間事業者等との連携・協働により、それぞれの目標達成に向けて各地域アクションプランの取組を推進している。

農業分野では、ユズについて、果実の品質アップや青果の生産拡大に向けた取組として、防除指導や栽培指導等の勉強会などの実施のほか、10月に北川村と農地中間管理機構との連携による農地整備事業が採択され、北川村内でユズ園地整備がスタートしている。販路開拓等の取組では、海外への青果の輸出については、輸出先が台風や豪雨災害による品質を懸念したため、取引量は当初の計画を下回った。全体の収量としては平年並みを見込んでおり、県内外の集客施設等でのユズ玉や果汁の消費宣伝などを積極的に行い消費拡大に努めている。

また、農産物の付加価値向上に向けて道の駅などで加工品の開発などの取組を進めている。

林業分野では、土佐備長炭の後継者の育成のため、研修生を受け入れるとともに地域の製炭事業者による炭窯増設への取組も始まっていることから、林業事務所等においてもウバメガシ、カシ類等の原木林の更新調査を継続し、原木の地域内再生産による生産コストの縮減や原木不足の対策への取組を進めている。

また、林業加工品関係では、馬路地域の林業事業者が経営力強化のために事業戦略の策定に取り組んでいるほか、新たな販路開拓に向けて産振アドバイザーの活用を行っている。

水産業分野では、定置網漁業漁獲物への高鮮度処理や近海マグロの加工品開発に向けた生産者協議を行うなど、付加価値向上と販路拡大の取組を進めている。

観光分野では、「志国高知 幕末維新博」の閉幕が近づき、特別企画展やイルミネーションイベントの開催など、博覧会の終盤の盛り上がりを出しているほか、2月から開始予定の「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」に向け、官民が連携し、体験プログラムの磨き上げや周辺施設との連携強化などの取組も進められている。室戸市の「むろと廃校水族館」は、来場者が開館半年で10万人を超えるなど引き続き好調であり、周辺の観光施設の集客を牽引している。昨年度、日本遺産に認定された中芸地区森林鉄道遺産についても、住民主体の体験プログラム「ゆずF e S」の実施や、関係機関と連携した旅行商品の造成作業、誘客促進に向けた県内外の旅行博覧会等での情報発信が積極的に行われている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 ユズを中心とした中山間振興(室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JA 土佐あき ・ JA 馬路村 	<p>[目標]</p> <p>(JA 土佐あき)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青果出荷受入量(1~12月) <ul style="list-style-type: none"> H26実績：449t→H29目標：400t(実績：343t) →H30目標：450t→H31目標：500t ○加工仕向量(1~12月) <ul style="list-style-type: none"> H26実績：4,489t→H29目標：4,800t(実績：4,142t) →H30目標：5,000t→H31目標：5,000t <p>(JA 馬路村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○加工品販売額(1~12月) <ul style="list-style-type: none"> H26実績：32億円→H29目標：32億円(実績：28.7億円) →H30目標：30億円→H31目標：36億円 <p>[取組状況]</p> <p>(JA 土佐あき)</p> <p>青果出荷受入量(1月~12月末)：485t(対前年度比141.4%) 加工仕向量(1月~12月末)：4,793t(対前年度比(115.7%))</p> <p>(JA 馬路村)</p> <p>加工品販売額(1月~12月末)：28.6億円(前年同期比99.6%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新植・改植の推進(青果の生産拡大と品質向上) <ul style="list-style-type: none"> (JA 土佐あき) ・栽培講習、改植事業等の勉強会(22回) ・品質向上、適期収穫に向けた目慣らし会(8回) ・冬至ユズ計画出荷のための生産予測調査 ・豪雨災害の復興を優先し、園地台帳の作成を一時中断していたが、12月末に実施した担当者会にて1月からの再始動を決定 ・北川地区農地中間管理機構関連農地整備事業の推進(ユズ園地整備：5.4ha 事業採択10/29、交付決定11/21) ○ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓 <ul style="list-style-type: none"> ・加工原料の品質ワンランクアップ(JA 土佐あき) (勉強会等(品質向上に向けた栽培指導等)の開催：22回) ・果汁、果皮の品質確保のための目慣らし会 (JA 土佐あき：8回) ・ユズの消費宣伝(JA 土佐あき) (横浜10/1、2、神戸11/9、高知11/23、東京12/22、23) ・EUへの青果ユズ輸出：3t (台風や豪雨被害の情報が広まっており、取引先が果実品質を心配したため、当初予定の10tから7t減となった)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆずはじまる祭 (JA 馬路村、11/3) ・まるごと高知で消費宣伝 (JA 馬路村、11/23～25) <p>○ユズ加工品の販売強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産振総合補助金(ステップアップ事業)を活用し、インターネットを利用したリスティング広告を試行 (交付決定12/3、JA 馬路村) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果実の品質向上と安定供給、販売強化 ⇒新植・改植の推進などの取組を着実に継続 ・加工品の販売強化 ⇒リスティング広告の実施結果を分析・検証(JA 馬路村)
<p>■No.2 ポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンカン生産者 ・甲浦の果樹仲間 ・東洋町 	<p>[目標]</p> <p>○商品数(累計)</p> <p>H26実績:2アイテム →H29目標:4アイテム(実績:13アイテム) →H30目標:4アイテム→H31目標:4アイテム</p> <p>○既存商品の販売数(1～12月)</p> <p>H26実績:3,584本→H29目標:4,000本(実績:3,115本) →H30目標:4,500本→H31目標:5,000本</p> <p>[取組状況]</p> <p>商品数(12月末見込み):13アイテム(累計) ※新商品:ぼんかんケンピ</p> <p>既存商品の販売数(1～12月見込み):6,714本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の駅マルシェへの出店(4/26) ・高知県産品商談会への参加(5/29) ・県外イベントへ出店(11/3,4) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上げ向上を目指した商品の磨き上げや新商品の開発 ⇒専門家の活用によるパッケージの改良や菓子類等の新商品開発 ・新商品の販売先の拡大 ⇒商談会等への出展によるPRの強化
<p>■No.5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化(室戸市、東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市木炭振興会 ・土佐備長炭室戸生産組合 ・土佐備長炭生産組合 	<p>[目標]</p> <p>○出荷量</p> <p>H26実績:1,076t→H29目標:1,360t(実績:1,262t) →H30目標:1,460t→H31目標:1,580t</p> <p>○新規就労者数(H28～31累計)</p> <p>H24～H27実績:11人→H29目標:12人(実績:8人) →H30目標:19人→H31目標:26人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○製炭窯設置 (H28～30累計) H24～26増設7基→H29目標：10基 (実績:5基) →H30目標：15基→H31目標：21基</p> <p>[取組状況]</p> <p>新規就労者数 (12月末)：12人 (累計) 製炭窯設置 (12月末) 7基設置 (室戸市4基、東洋町3基)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炭焼研修の実施、研修生募集 <ul style="list-style-type: none"> 実施中：室戸市 2名 (30年開始生2名) 東洋町 3名 (29年開始生1名、30年開始生2名) ・製炭原木 (ウバメガシ) の更新試験の継続 試験地調査 (13回) ・市有林のウバメガシ人工造林地の保育事業採択決定 (7/10) ・ウバメガシ林 (室戸市有林) 2.4ha を公売 (8/13) ・原木伐採のための作業道開設へ支援中 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伐採可能なウバメガシ原木林の減少とシカ被害の拡大 ⇒ウバメガシ等原木の地域内生産等による調達コストの縮減策の普及 ⇒施業ロットの拡大等によるシカ被害対策の実施 ・生産拡大等支援策の検討 ⇒零細経営事業者への支援制度を検討 ・研修生の自立支援 ⇒既存支援制度の周知 ・生産者団体の組織強化 ⇒組織化の意向調査
<p>■No.6 林業加工品の販売の促進 (馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株) エコアス馬路村 ・馬路林材加工協同組合 ・馬路村森林組合 	<p>[目標]</p> <p>○木製品出荷額 H26実績：251,910千円 →H29目標：264,000千円 (実績：190,047千円) →H30目標：270,000千円→H31目標：277,000千円</p> <p>○加工部門雇用者数 H26実績：27人→H29目標：27人 (実績：22人) →H30目標：27人→H31目標：27人 (現状維持)</p> <p>[取組状況]</p> <p>木製品出荷額 (12月末)：130,660千円 (前年同期比93.0%)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・(株) エコアス馬路村の木製名刺製造過程改善を林業・木材産業生産性向上 PT で課題化。生産性向上のための機械開発を検討中 ・馬路林材加工協同組合の事業戦略づくりを支援 <ul style="list-style-type: none"> 県の事業戦略策定支援事業に採択決定 (6/27、30年6月から最長3年間) 訪問指導 (4回) 経営力向上セミナー (8/27) ワークショップ (11/14) ・産振アドバイザーの活用 (11/15～11/16) 馬路林材加工協同組合、株式会社エコアス馬路村 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木製品の販売促進 ⇒消費者ニーズに合った木製品の販売強化 ・加工力の強化 ⇒馬路林材加工協同組合の事業戦略の作成 (県事業) ⇒ツインソーの更新による加工力の強化 ・原木の安定供給策の検討 ⇒原木の村内調達の推進 ・公共土木工事等での木材利用の推進 ⇒木製工事用資材の利用拡大に向けた働きかけを継続
<p>■No.7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大 (室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>[定置網漁獲物]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市定置漁業振興協議会 ・中芸定置網漁業振興協議会 <p>[近海マグロ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐室戸鮪軍団 ・美阿丸 <p>[水産加工]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有) タカシン水産 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高鮮度処理魚の販売額 H26実績：0円→H29目標：2,000千円 (実績:166千円) →H30目標：2,000千円→H31：目標20,000千円 ○簡易加工品の販売額 H26実績：0円→H29目標：300千円 (実績：0千円) →H30目標：300千円→H31目標：3,000千円 ○加工品販売額 ((有) タカシン水産室戸工場) H26実績：0.8億円→H29目標：0.8億円 (実績97,985千円) →H30目標：1.0億円→H31目標：1.5億円 <p>[取組状況]</p> <p>高鮮度処理魚の販売額 (11月末)：0円</p> <p>簡易加工品の販売額 (11月末)：0円</p> <p>加工品販売額 ((有)タカシン水産室戸工場) (10月末) ：64,137千円 (前年同期比98%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高鮮度処理の取組 (室戸市定置協及び中芸定置協) <高鮮度処理魚の増産> <ul style="list-style-type: none"> ・定置網漁業者等への技術指導5回 (室戸5回、中芸4回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p><高鮮度処理魚の販路拡大></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規参入した産地買受人との事業協議 (3回) ⇒室戸地域での買い付け業務を開始 (4月～) ・新規参入を希望する買受人との協議 (1社) <p>○簡易加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化に向け加工体制、販路開拓など協議 (4回) ・県外飲食店との取引協議 (3回) ・加工委託先との協議 (2回) ・県外飲食店でのメニュー化 (12月～1月) ・室戸市ふるさと納税返礼品としてHP掲載 (12/21～) <p>○加工品販売の取組 ((有) タカシン水産室戸工場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理体制、施設改修に係る協議 (2回) ・県外飲食店との取引協議 (1回) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○高鮮度処理の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働力の確保 ⇒従業員確保対策など ・高鮮度処理魚の生産体制の見直し ⇒漁業者の作業負担を軽減するため活魚の増産促進 ⇒高鮮度処理技術や活魚及び高鮮度処理魚の販路を有する産地買受人を誘致 ⇒漁業者と産地買受人の連携による高鮮度処理魚の生産体制を構築 <p>○簡易加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工体制の構築、販路の確保 ⇒加工施設の決定、衛生管理 ⇒サンプル出荷を通じた販路開拓 <p>○加工品の取組 ((有) タカシン水産室戸工場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理者の育成 ⇒HACCP講習会への参加を通じた育成
<p>■No.10 キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大 (室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 ・協同キラメッセ室戸 (有) 	<p>[目標]</p> <p>○売上高</p> <p>H26実績：308,334千円 →H29目標：365,000千円 (実績382,686千円) →H30目標：382,686千円→H31目標：370,000千円</p> <p>○来場者数</p> <p>H26実績：230,887人 →H29目標：260,000人 (実績：254,754人) →H30目標：260,000人→H31目標：260,000人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>売上高(11月末): 222,208千円(前年同期比109%) 来場者数(11月末): 167,511人(前年同期比99%)</p> <p>○農業複合経営拠点の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協同キラメッセ室戸(有)、市、県の三者協議の開催 (3回) ・庄毛集落営農組合の協業品目(もち麦)の販売協議(9/26) ・キラメッセ戦略会議(9/27) →直販所改修 H31.9月頃予定 ・生産者全体意見交換会(10/26) ・庭先集荷の確立 職員2名体制、週2回実施(火、金) (中川内～大岸、長野～西地、日南) <p>○店舗での販売拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発・販売促進の取組 〔きゃらぶき(販売:5/16～)・きらきらピクルス(販売:5/26～)〕 高知県工業技術センターで消費期限検査(5/17) コロッケ OEM 交渉中(高知市内の食品製造事業者) ジオラーめん開発(レストランでの提供:7/28～) <p>○外商の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちからむらから館(東京)での販売 売上高:8,658千円(9月末) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏場の生鮮品不足や農産物出荷者の高齢化に伴う商品量の低下 ⇒葉物野菜等の実証栽培試験の実施 ⇒庭先集荷の集荷先の開拓 ・特産品の販路拡大 ⇒通販サイトのバージョンアップ ⇒外商活動の強化 ⇒ふるさと納税返礼品の拡充(真空パック米、いもチップス) ・売り場の改修 ⇒アドバイザーによる売り場の改善指導を受け、H31年度中に直販市を改修予定

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 11 安芸本町商店街を中心とする地域の活性化(安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸本町商店街振興組合 ・安芸商工会議所 ・安芸市 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空き店舗等を活用した新規開業 H28実績：―→H29目標：1件(実績：0件) →H30目標：1件→H31目標：3件(H29～31累計) <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の活性化への取組 <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりコミュニティの取組 商店街の活性化に向け、所有者から利用提案があった空き店舗を地域の集いの場、実践の場として活用 検討会の実施 9回 集客イベントの開催 5回 ・大型空き店舗の利活用策について関係者協議 ○全国「商い甲子園」大会 <ul style="list-style-type: none"> ・さんしんGO!「商い甲子園」(RKC、8/5放送) ・全国「商い甲子園」大会開催(8/18) 12校17チーム <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりコミュニティの持続的な運営 ⇒活動の担い手確保・安定した収入の確保 ・商店街活性化にむけた計画づくり ⇒空き店舗の利活用に向けた関係者協議の継続
<p>■No. 12 海の駅東洋町を拠点とした地域振興(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東洋町 ・東洋町観光振興協会 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 H26実績：141,938千円 →H29目標：168,990千円(実績：167,576千円) →H30目標：168,990千円→H31目標：168,990千円 ○来場者数 H26実績：157,790人 →H29目標：180,000人(実績：178,883人) →H30目標：180,000人→H31目標：180,000人 <p>[取組状況]</p> <p>売上高(12月末)：125,352千円(前年同期比99.0%) 来場者数(12月末)：134,280人(前年同期比98.4%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レストランメニューの刷新、弁当の販売開始(4/1～) ・海の駅マルシェの開催(2回) ・教育旅行の受入(2校) (修学旅行生への土産物の販売) ・店内でのワークショップ開催(3回) ・町内イベントへの出店(2回) ・町外イベントへの出店(3回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府でのPR活動(11回) ・直販市活性化セミナー受講及びアドバイザーによる現地指導(4回)、県外視察(11/29) ・売場のレイアウト変更(2回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗の狭溢対策 ⇒増設や改修に向けてアドバイザーを活用し、関係者間で協議 ・特産品の開発と販路拡大 ⇒地域食材を活用した新たな加工品開発・生産のための施設整備の検討
<p>■No.13 有害鳥獣等を活用した商品開発と販路開拓(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)熊谷ファーム ・(株)マルキョウ 	<p>[目標]</p> <p>○売上高 H26実績：―→H29目標：13,500千円(実績：612千円) →H30目標：16,500千円→H31目標：20,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(12月末見込)：760千円(前年同期比164%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうち農商工連携基金を活用したパンフレット等の配布 ・町外イベントへの出店(2回) ・インターネット店舗(Yahoo, 楽天)で販売開始(4月～) ・ふるさと納税で取扱い開始(5月～) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットフードの新商品開発と販路拡大 ⇒ペットフード部門への人材の投入 ⇒商談会等への出展による販路拡大 ⇒加工体制強化の検討
<p>■No.14 地域食材を活かした奈半利町の特産品の開発及び販路拡大(奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・JA土佐あき ・奈半利なんでも市加工グループ ・(一社)なはりの郷 ・NCL48(奈半利のおかって) ・漁協女性グループ(加領郷魚舎) <p>※地域産業クラスター関連(奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター)</p>	<p>[目標]</p> <p>○JA加工施設(奈半利味噌)の売上高 H26実績：5,140千円 →H29目標：9,176千円(実績：7,038千円) →H30目標：7,953千円→H31目標：9,120千円</p> <p>○農水産加工施設の売上高 H26実績：0円 →H29目標11,297千円(実績：19,634千円) →H30目標：19,303千円→H31目標：9,000千円</p> <p>○水産加工施設の売上高 H26実績：3,220千円 →H29目標：17,227千円(実績：38,575千円) →H30目標：36,773千円→H31目標：12,000千円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○集出荷センター取扱高</p> <p>H27.7月～H28.6月実績：2億円</p> <p>→H29目標：2.5億円（実績：25.8億円）</p> <p>→H30目標：8億円→H31目標：12億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>JA加工施設（奈半利味噌）の売上高（12月末） ：4,727千円（前年同期比92%）</p> <p>農水産加工施設の売上高（12月末） ：20,282千円（前年同期比152%）</p> <p>水産加工施設の売上高（12月末） ：28,542千円（前年同期比117%）</p> <p>集出荷センター取扱高（11月末）：7.7億円 （前年同期比110%）</p> <p>○JA加工施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品・販売促進について関係機関と協議(5回) ・「奈半利味噌」の贈答品用外箱、商品リーフレット作成中 <p>○農水産加工施設（奈半利のおかって）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工グループ、各関係機関と協議（33回） ・奈半利観光フェスでの出店（5/20） ・高知東海岸グルメまつり出店（10/7） ・ふるさとまつり出店（11/4） <p>○水産加工施設（加領郷魚舎）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工グループ、関係機関との協議（15回） ・新商品を開発中（缶詰・干物串） ・食1グランプリ出店（3/31～4/1） 「金目鯛の炙り丼」第9位受賞 ・おさかなまつりへ出店（5/20） ・れんげいこうち「日曜日」出店（9/16） ・高知東海岸グルメまつり出店（10/6、7） ・土佐のおさかなまつり出店（10/27、28） ・ふるさとまつり出店（11/2、4） <p>○集落活動センター運営体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度理事会の開催(3回) ・定例会の開催（5回） ・クラスタープラン検討会議（2回） <p>○一次産業部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業作業受託状況（12月末）： 畦塗り18件/耕起17件/田植9件/畝立4件/代かき13件/

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>刈取9件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オペレーター登録者(12月末):23名 ・農畜産物集出荷センター稼働(4月～) ・不耕作地解消事業 <ul style="list-style-type: none"> ジャガイモ、タマネギ、キュウリ、ブロッコリー、カリフラワーの栽培・出荷 米の作付(H30.2～)(収量:約2.4t)、イチジクの作付(H30.3～) ・施設園芸 <ul style="list-style-type: none"> レンタルハウスにてナスの栽培・出荷(収量:約15t) <p>○観光部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なはりの郷活性化協議会観光部会の開催(6回) ・Art&Live なはりの郷キャンドルライトアップ(9/22～24) ・公式観光ガイドブックの修正 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工施設の人材確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒移住促進・人材確保センター、関係機関との連携 ・販路拡大のための生産・販売体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒新商品の開発や積極的な商談会参加による販路拡大 ⇒なはりの郷がナス栽培用のハウスを建設予定 ・集落活動センターによる観光振興 <ul style="list-style-type: none"> ⇒レンタサイクル用の自転車購入、海浜センターの備品整備、集活センターの看板設置や「夜の街歩き」宣伝物の作成
<p>■No.15 完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田野町 ・民間事業者 	<p>[目標]</p> <p>○体験受入回数 H25実績:24回→H29目標:26回(実績:25回) →H30目標:27回→H31目標:28回</p> <p>○受入人数 H25実績:計1,186人(体験:226人、見学:960人) →H29目標:計1,305人(体験:249人、見学:1,056人) (実績計141人(体験:59人、見学:82人)) ※体験施設はH29.10～H30.5末まで休館 →H30目標:計1,364人(体験:260人、見学:1,104人) →H31目標:計1,423人(体験:271人、見学:1,152人)</p> <p>○塩関連での就業者数(累計) H26実績:2人→H29目標:2人(実績:2人) →H30目標:2人→H31目標:10人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>体験受入回数(12月末): 30回(前年同期比120%) 受入人数(12月末): 計215人(前年同期比152%) (体験: 98人、見学: 117人)</p> <p>※製塩体験施設は6/1より再開のため、4~5月実績なし 塩関連での就業者数: 2名(累計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採かんタワーの整備 産振総合補助金(担い手確保事業)を活用 (H30.2/6着工 H30.5/31完成) ・製塩体験施設スタッフの受入(2名: 5月及び8月) ・地域おこし協力隊(製塩研修生)募集のため、移住フェア参加(6月、12月) ・塩職人希望者(1名)の研修受入(8/12~13) ・ゆずF e Sプログラムの実施(2回) (製塩体験、バスボム作り: 参加者: 4名) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産業振興 <ul style="list-style-type: none"> ・研修生の自立支援 ⇒生産用レンタルハウス2棟整備(H30中) ・町と関係者間での連携体制の強化 ⇒研修者の受入れ、育成 独立後の環境整備に向けた関係者間での協議 にがり活用の検討 ⇒地域おこし協力隊(製塩研修生)の募集 製塩研修施設をメディア媒体でPR 研修施設・体験施設のパフレット作成 ○観光への活用 <ul style="list-style-type: none"> ・集客のためのPR(体験施設) ⇒田野町内での周遊を促進する取組(パフレット作成)による集客力のアップ ⇒町HP等で情報発信
<p>■No.16 道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取組(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田野町 ・道の駅指定管理者 ・加工施設指定管理者 ・生産者組織 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高(1~12月) H26実績: 258,729千円 →H29目標: 360,000千円(実績: 367,094千円) →H30目標: 380,000千円→H31目標: 400,000千円 ○入込数(1~12月) H26実績: 221千人→H29目標: 244千人(実績: 274千人) →H30目標: 255千人→H31目標: 265千人

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・地域団体</p>	<p>[取組状況]</p> <p>売上高(1～12月): 354,403千円(前年同期比97%) 入込数(1～12月): 278千人(前年同期比102%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町、道の駅指定管理者(田野駅屋連)及び地域本部による情報共有会議の開催(月1回開催) ・外商の拡大に向け、外商公社へ田野駅屋野菜情報の提供(月1回) ・新メニューの販売(そば、ラーメン、うどんとカレーを組み合わせたメニュー)(3/26～) ・ユージおすすめ田野お土産BOX販売開始(4/26～) ・中芸高校生オリジナルレシピ「田野学館弁当(420円)」販売開始(4/7～)(土日限定) ・四国・高知「道の駅」スタンプラリー2018開始(4/28～10/31) ・GW臨時観光案内の実施(4/28～5/6) ・田野駅屋15周年記念ビアガーデン開催(7/14) ・おばけストリート出店(9/22) ・東海岸グルメまつり出店(10/6、7) ・肉フェスガッツリ!ほうバルフェスタ出店(11/23) ・冷蔵庫設置(11/27) ・「田野駅」エレベーター設置工事(11月着工、3月完成) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる集客アップに向けた戦略づくり ⇒ブランド化や販売増を目指した体制強化の検討 ⇒レンタサイクル小屋の整備(周遊促進) ・直販・飲食機能の強化 ⇒施設・駐車場の拡張の検討
<p>■No. 17 地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化(芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村 ・(有)かっぱ市 ・生産者グループ 	<p>[目標]</p> <p>○売上高 H26実績: 135,000千円 →H29目標: 165,000千円(実績: 147,440千円) →H30目標: 165,000千円→H31目標: 200,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(12月末): 103,799千円(前年同期比96.8%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の販売に係る進捗管理、販路開拓等について関係者協議(4回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高の拡大 ⇒集落活動センターげいせいと連携した新商品の開

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>発・販売(花卉・白玉糖など村特産品の活用を検討) ⇒販売戦略の策定等についてアドバイザーを活用 ⇒来年度高知市御座に開業する「とさのさと」内販売スペースへの出品を検討</p> <p>・製糖体験メニューの磨き上げ ⇒最少催行人数などについて関係者間での協議・検討</p>
<p>■No. 18 安芸地域の観光振興の推進(安芸地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社) 高知県東部観光協議会 ・安芸広域市町村圏事務組合 ・市町村 ・観光協会等 ・地域団体 ・民間事業者 	<p>[目標]</p> <p>○圏内主要施設訪問者数(圏内観光施設、体験プログラム、直販施設及びイベント集客数)(1~12月) H27実績: 2,401,821人 →H29目標: 2,468,500人(実績: 2,330,806人) →H30目標: 2,549,000人→H31目標: 2,606,000人</p> <p>○圏内宿泊者数(1~12月) H27実績: 138,229人 →H29目標: 143,000人(実績: 137,636人) →H30目標: 146,000人→H31目標: 150,000人</p> <p>[取組状況]</p> <p>圏内主要施設訪問者数(1~9月末): 1,675,529人 (前年同期比103.5%)</p> <p>圏内宿泊者数(1~9月末): 148,484人(前年同期比99.8%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民泊登録世帯(11月末): 207世帯(H29: 161世帯) ・教育旅行の受入れ: 中学校5校(H30: 5校) (H31: 3校、H32: 6校の受入決定) <p>○観光の基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光クラスター会議(4回) <p>○日本版DMOの形成に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光戦略策定のための検討会の実施(1回) ・日本版DMO候補法人登録申請(10/29) 今年度中に登録される見通し <p>○広報・PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社等へのセールス活動(商談会: 首都圏、関西、中部、香港、訪問社延べ79社) ・広域観光パンフレット製作ワーキングの実施(2回) ・PRコマーシャルの作成・放映(8/4~31) <p>○旅行商品の造成・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐の観光創生塾(応用編)の開催(4回) 16事業者の参加→13商品を現在造成中 ・県アドバイザーによる研修の開催 安田町(9/12): 8名参加

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>芸西村(9/12):12名参加 安芸地域全域(11/16):19名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産関連の旅行商品化 ツアー商品・体験メニューの造成作業中 中芸ゆず収穫体験モニターの実施(10/23)11名参加 ・旅行AGの旅行商品の造成等への助成・支援(36件) <p>○イベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こうち春花まつり」へのブース出展(高知市・5/3~5) →東部観光PRの実施 ・「ツーリズムEXPOジャパン」(東京都・9/20~23)へのブース出展 →新規旅行会社へのセールス活動につながる ・「ひがしこうち旅周遊キャンペーン」(11/15~1/6)の実施(スマホアプリを使用した周遊スタンプラリー) ・「安芸・室戸パシフィックライド2018」の実施(12/2)参加申込者444名(うち県内217名、県外227名) 当日出走者406名、完走者400名 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行における受入施設・メニューの不足 ⇒団体客の受入のため、既存施設・体験メニューの磨き上げ並びに新規体験メニューの造成に取り組む ・教育旅行における民泊登録世帯の不足 ⇒各市町村担当者とともに民泊候補の世帯を訪問し、さらなる掘り起こしを実施 ・自然&体験キャンペーンに向けた体験プログラム並びに観光施設の磨き上げや周遊プランの造成 ⇒観光アドバイザー制度や研修制度等を活用し、地域素材の磨き上げやボランティアガイド等地元関係者の観光スキルの向上を図る
<p>■No.19 日本遺産を活用した中芸地域の活性化(奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・田野町 ・安田町 ・北川村 ・馬路村 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ツアー等による林鉄ガイド実績 H26実績:846人→H29目標:1,300人(実績:785人) →H30目標:1,300人→H31目標:1,500人 ○拠点施設年間来館者数 ※H31整備予定 H26実績:—→H29目標:— →H30目標:—→H31目標:1,000人 <p>[取組状況]</p> <p>ツアー等による林鉄ガイド実績(12月末):381人 (前年同期比58.9%)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会 ・中芸のゆずと森林鉄道日本遺産推進協議会 	<p>拠点施設年間来館者数：一人（拠点施設未整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本遺産協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・協議会総会の開催（5/19） ・合同部会の開催（12/10） ○情報発信及びPR <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産のHP及びフェイスブックを開設（4/16） ・中芸りんてっライブ2018の開催（4/22）来客数：250人 ・県庁ロビーにて中芸のゆずと森林鉄道のジオラマ及びパンフレットを展示（4/23～4/30） ・ゴールデンウィーク臨時観光案内所でのパンフレット配布（4/28～5/6） ・安芸桜ヶ丘高校生とのコラボ商品「森、愛す。」の発表（6/24） ・地域内イベントへの出展（2回） ・日本遺産サミットへの参加及びブース出展（9/22～23） ・ツーリズム EXPO ジャパンへのブース出展（9/20～23） ・RKC ラジオキャラバンでのPR（10/18） ・OZ の女子旅 EXPO へのブース出展（11/2～3） ・BS-TBS 2018「日本遺産」シーズン3での全国放送(12/23) ・PR ツール（ピンバッジ、キャップ、トートバック、チラシ、ポスター、リーフレット、カレンダー）の作成 ○イベント開催 <ul style="list-style-type: none"> ・エコミュージアム研修会の開催（8/25） ・地域の魅力発信イベント「ゆず FeS」の開催 第2回（9/22～11/11・全22プログラム）集客数：269人 ○保存及び活用 <ul style="list-style-type: none"> ・重要文化財旧魚梁瀬森林鉄道施設保存活用推進委員会を開催（4回） ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会定期総会を開催（5/26） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業推進体制の確立 ⇒住民・民間団体との連携強化、5町村関連部局との情報共有・協力体制の強化 ・訴求力のあるイベント企画、旅行商品の開発、情報発信力の強化 ⇒地域内観光施設間の連携強化 ⇒新規体験プログラムの造成 ⇒案内ガイドの育成

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒旅行雑誌等への掲載、HPの多言語化など情報発信力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産拠点施設（ビジターセンター）の整備 <p>⇒拠点施設の整備計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業終了後の自走に向けた仕組みづくり <p>⇒補助期間終了後の持続的な運営に向けた戦略立案の策定</p>
<p>■No. 20 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興（室戸市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 ・室戸ジオパーク推進協議会 ・室戸市観光協会 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ジオパークガイド利用者数（岬、吉良川、佐喜浜合計） H26実績：7,869人→H29目標：8,000人（実績：7,115人） →H30目標：8,000人→H31目標：10,000人 ○室戸世界ジオパークセンター入館者数 H26実績：－（未整備） →H29目標：70,000人（実績：73,811人） →H30目標：70,000人→H31目標：70,000人 <p>[取組状況]</p> <p>ジオパークガイド利用者数（H30.4月～12月）：4,799人 （前年同期比87%）</p> <p>室戸世界ジオパークセンター入館者数（H30.4月～12月） ：68,758人（前年同期比121%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集客の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なイベントの開催 ジオパークにみる幕末維新博（1/6～5/31） GWイベント（5/3～5/5） スマホ de クイズキャンペーン 室戸ジオパークひともの写真展（7/1～） 生き物ウォッチング（4回） ジオパーク一日先生（6回） 防災イベント（9/1） 企画展「地球×ちきゅう」（11/1～1/31） ・県内宿泊施設との連携による新たな体験メニュー造成と誘客について協議（6/15） ・インバウンド等に対応した英語が堪能な人材（国際交流員）を雇用（1名・8/1～） ○ジオパークの磨き上げ <ul style="list-style-type: none"> ・室戸ジオパーク全体会議を開催（5/31） 市民を中心に「学ぶ」「守る」「もてなす」「広める」「稼ぐ」などのテーマ別にジオパークを盛り上げる検討を実施 ・体験プログラム・インストラクター養成講座実施中

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークマスター講座開催 (10/26～2/1) ・ジオばた会議 (2/6～ 市内7箇所) ○日本ジオパーク再認定に向けた取組 (審査日程：8/2～8/5、審査結果：再認定 (9/20)) ・新規サイトへの案内板整備、現地審査対応 ・サイトの分類の見直し及び新たなサイトの設定 22サイト→78サイト (H31.2月) ○世界ジオパーク再認定に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・書類の作成 (11/30 提出、最終版1月末 提出予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規及びリピーター客の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒魅力ある周遊コースの開発や磨き上げ、実施体制について検討 ⇒周辺施設等との連携強化 ⇒県内宿泊施設と連携した誘客の仕組みづくり ⇒P R・情報発信の強化 ・受け入れ体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ガイドの増員に向けた養成講座、ガイドのスキルアップ研修 ⇒教育旅行等に対応した民泊の推進 ・再認定への対応 <ul style="list-style-type: none"> ⇒来年の世界認定に向けた申請及び準備等
<p>■No. 21「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大 (室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人室戸ドルフィンプロジェクト ・室戸黒潮協同組合 ・(一社) うみ路 ・室戸市 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○室戸ドルフィンセンター来場者数 H26実績：24,431人 →H29目標：30,000人 (実績：20,446人) →H30目標：30,000人→H31目標：31,000人 <p>[取組状況]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数 (12月末) ：22,615人 (前年同期比132%)</p> <p>台風被災により営業停止 (9/30～10/17) 一部営業再開 (10/18～12/3) 全面営業再開 (12/4～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体験プログラム収益の推移 H28：25,759千円→H29：24,702千円 H30.12月末時点：26,490千円 (前年同期比118%) ○NPO 法人室戸ドルフィンプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド対策：社内英会話教室実施 (月1回：～8月) ・修学旅行受入 (大阪の中学校：5月-3校・6月-2校)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・親子でカツオたたき体験&イルカ教室 (7/21) ・イルカ飼育員のお仕事体験 (3回) ・工作教室～イルカガイドブック付き～等イベント開催 (8/26) ・市内・外イベント参加 (むろとの日、マグロックフェス、東洋町マリンフェスティバル・高知市日曜市など) ・ダイビング客受入 (6/16～17) ・観光創生塾応用編参加 (2回) ・各種割引制度実施 (雨の日割引・父の日割引など) ・むろと廃校水族館とのコラボ企画展開 共通割引券販売や両施設を利用した方への粗品提供 ○室戸黒潮協同組合 <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の受入(カツオのたたき作り体験)(2校142人) ・定期的な鯉のタタキ体験 (4月～9月：382人参加) ・ビアガーデン開催 (7/15) ・モネの庭キャンドルナイト出店 (9/15) ・室戸健康マラソン前夜祭出店 (10/20) ・ホームページ改修 (12月公開) ○うみ路 <ul style="list-style-type: none"> ・城西館と連携した体験メニュー(スジアオノリ収穫)の検討 (6/15) ・ドルフィンセンターと連携した収穫体験実施 (11/10) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集客(リピーター含む)の増加 ⇒近隣施設などと連携した新たなメニューづくり ⇒県内宿泊施設と連携した誘客の仕組みづくり ・体験プログラム(カツオのたたき作り体験やイルカとのふれあい体験)等の情報発信強化 ⇒事業主体による個々のPRのほか、施設内の事業者間で連携した広報を検討 ⇒海の駅とろむのHPを改修し、集客を推進
<p>■No. 22 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進(安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸市 ・安芸市観光協会 ・漁協 ・伊尾木あなごう保存会 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内年間観光客数 H26実績：196,895人 →H29目標：300,000人(実績：281,920人) →H30目標：300,000人→H31目標：300,000人 ○市内年間宿泊者数 H22～26平均実績：22,721人 →H29目標：25,000人(実績：25,331人)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・内原野陶芸館 ・JA 土佐あき ・安芸市観光ボランティアガイドの会 ・廓中ふるさと館 ・メリーガーデン ・はたやま夢楽 ・安芸「釜あげちりめん井」楽会 ・道の駅大山 <p>※地域産業クラスター関連（日本一のナス産地拡大プロジェクト）</p>	<p>→H30目標：25,000人→H31目標：25,000人</p> <p>○ちりめん井販売食数</p> <p>H26実績：40,846食</p> <p>→H29目標：45,000食（実績：46,493食）</p> <p>→H30目標：50,000食→H31目標：50,000食</p> <p>[取組状況]</p> <p>市内年間観光客数（4月～11月末）：207,467人</p> <p>市内年間宿泊者数（4月～11月末）：16,800人</p> <p>ちりめん井販売食数（4月～11月末）：33,235食</p> <p>○観光イベントの開催・参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐の食1グランプリ(3/31～4/1) ・手づくり登り窯フェスタ(4/21～4/22) ・あなごうまつり(5/4～5/5) ・安芸市民納涼祭(8/4～8/5) ・高知東海岸グルメまつり(10/6～10/7) ・土佐よさこいツーデイウォーク(10/20～10/21) ・安芸キャンドルナイト2018(12/8) <p>○観光資源の魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸たび(安芸市観光ガイドブック) やぶらりマップの活用による観光客への情報発信 ・伊尾木洞への観光案内所等の整備 観光拠点等整備事業費補助金交付決定(6/6) <p>○体験プログラムの造成等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しらす漁見学と船釣り体験」を旅行企画として旅行会社向け企画冊子に提案 しらす漁見学&船釣り体験ツアー受け入れ 2件・延べ36人(12月末) ・伊尾木洞の体験観光の磨き上げ 観光ボランティアガイドの研修(11/6徳島県三好市) <p>○岩崎家ゆかりの地広域文化観光協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩崎家ゆかりの4市区町による協議会が発足(5/16) ・第2回協議会を実施(岩手県雫石町：8/6～7) ・ゆかりの地交流 高知東海岸グルメまつり(10/6,7) 富里市が出店 富里市産業祭り(11/17,18) パネル展示、出店 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラム等の新たな造成と磨き上げ ⇒自然&体験キャンペーンや三菱グループ創業150周年と連動した事業企画の検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒シラスやなす、土佐ジロー等の地域食材を活用した地域ブランド力の向上</p> <p>⇒伊尾木洞の体験観光の磨き上げ ヘルメット・長靴・ガイド用拡声器の整備</p> <p>⇒内原野陶芸館に焼き上げ時間短縮のため、小型電気窯を整備</p> <p>・岩崎家ゆかりの地広域文化観光協議会との連携</p> <p>⇒日本遺産認定にむけた活動の継続とともに、今後の広域的な観光プランの造成につなげていく</p>
<p>■No. 23 東洋町における体験型・滞在型観光の推進（東洋町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東洋町 ・ 地元マリンスポーツ関係事業者 ・ 宿泊事業者 ・ 東洋町観光振興協会 	<p>[目標]</p> <p>○体験者数 H27実績：―→H29：1,000人（実績：444人） →H30目標：1,000人→H31目標：5,000人</p> <p>[取組状況]</p> <p>体験者数（12月末見込み）：466人（前年同期比105%）</p> <p>○体験メニューの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 阪急交通社と連携した、田舎体験プログラムがメインのツアー実施（夏休み期間の親子向けツアー4組、8/3～4、21～22、8/25～27） ・ 阪急交通社と連携した、美容と健康をテーマとした美・trip こうち東洋町2018ツアー実施（参加者9名、11/10～11） <p>○イベント開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海の体験レジャーを中心とした「東洋町マリンフェスタ2018」の開催（6/30） <p>○情報発信及びPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報冊子やチラシをまるごと高知等で配布（2回） ・ 湖南市、室戸市、東洋町による観光交流に関する協定調印（7/14） ・ こにゃん元気市場（滋賀県）でのPR、物産販売（10/28） <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育旅行の受入：2校（延べ37戸 150名）（5～6月） ・ 海上アスレチックの視察 鳥取県浦富海岸、兵庫県竹野海水浴場（8/19～20） 神奈川県逗子海岸（9/21） 須崎市浦の内（9/25） 沖縄県名護市恩納村（10/22～24） ・ 海上アスレチックアドバイザーの導入（2回）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験プログラムの受入体制の強化 ⇒体験者受入に向けて東洋町観光振興協会の法人化及び事務所開設の準備 ・ 地域資源を生かした体験プログラムの造成及び周知 ⇒観光客向けの新たな体験プログラム「マリンレジャー体験」の実施を検討 ⇒ポータルサイトやパンフレットでの広報強化 ・ 東洋町の体験観光の魅力向上 ⇒マーケティングを基にした体験プログラムの磨き上げ、モニターツアーの実施、プロモーションビデオの作成、人材育成を実施(農山漁村振興交付金事業を活用)
<p>■No. 25 北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大(北川村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北川村 ・ (株)きたがわジャルダン ・ 北川村観光協会 ・ NPO 法人中岡慎太郎先生顕彰会 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各施設入園(館)者合計数 H26実績：80,983人 (モネの庭：53,174人、北川村温泉：21,682人、中岡慎太郎館：6,127人) →H29目標：78,000人(実績：87,189人) (モネの庭：68,000人(実績：77,262人) 北川村温泉：閉館中、中岡慎太郎館：10,000人(実績：9,927人)) →H30目標：100,000人 (モネの庭：70,000人、北川村温泉：20,000人、中岡慎太郎館：10,000人) →H31目標：108,000人 (モネの庭：70,000人、北川村温泉：28,000人、中岡慎太郎館：10,000人) <p>[取組状況]</p> <p>各施設入園(館)者合計数(12月末)：80,473人 モネの庭：60,828人(前年同期比88.9%) 北川村温泉：12,585人 中岡慎太郎館：7,060人(前年同期比83.7%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○モネの庭 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「チューリップチューリップ」の開催(3/1～4/15) 4月の入園者数9,215人(前年同期比148%) GW期間入園者数7,802人(前年同期比78.4%) ・ 休園日(5/22)を利用したモネの庭貸し切りツアーの実施(参加者数：290名)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・「渡邊智美展-Imagine-」の開催 (5/26～6/17) ・「前田博史天然写真展 阿蘇、変わらぬ風×『くまモンとブルービーの大冒険』絵本原画展」の開催 (7/1～9/2) ・「写友たの写真展」の開催 (7/18～7/30) ・「キャンドルナイト2018in モネの庭～移りゆく光～」の開催 (9/15) 来場者数：1,351人 (対前年+110人) ・「印象派と浮世絵のボタニカルアート展」の開催 (9/22～12/10) ・「光のフェスタ in モネの庭2018」の開催 (11/23～12/24) 来場者数：2,378人 (前年比108.9%) ○北川村温泉 <ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルオープン (6/26) ○中岡慎太郎館 <ul style="list-style-type: none"> ・慎太郎企画展の開催 (4/13～6/25、7/18～8/27、8/30～10/29) ・中岡家花家紋2018の開催(4/28～5/27) ・北川村企画展の開催 (11/14～1/28) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内周遊の仕組みづくり ⇒連動したイベントの開催や各施設間での交通アクセスの検討

2 平成30年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
No.1 ユズを中心とした中山間振興(室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村) ※ステップアップ事業 12/3 交付決定	インターネットのリスティング広告を活用し、容器をペットボトル化したポン酢等の商品やゆずを原材料とする化粧品のPRを行い、新規顧客の獲得を目指す。	4,320 (2,000)

3 県民参画に向けた取組

- ・産業振興計画シンポジウムへの参加案内
(四国銀行、高知銀行、室戸市商工会、安芸商工会議所、中芸地区商工会、JA 土佐あき、JA 馬路村、集落活動センターなど)
- ・管内事業者等への研修会 (HACCP トップセミナー、土佐 MBA、土佐 FBC」等) などの開催の周知

4 相談案件：3件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	5/10	食品加工	工場の高台移転及び、HACCP 対応の設備導入の支援策について
2	6/8	ゲストハウス運営	県外の若者を対象とした短期就業体験の受け入れについて
3	11/7	観光業	安芸市の遊休施設の利活用について